

私は耳が不自由です

戸田市議会議員 無所属 40歳
心の声が聴こえる街へ

たかのぶ 佐藤 太信

- 昭和55年5月18日生 ●2歳の頃に失聴 ●戸田東小学校卒 ●戸田東中学校卒 ●県立浦和商業高校
- 中央大学法学部卒 ●大正大学院修了(臨床心理学) ●CAオーロニカレッジ留学 ●東京電力入社
(安全管理業務) ●児童福祉施設(社会福祉法人) ●都内ろう学校(スクールカウンセラー、乳幼児教育相談) 所属:戸田市身体障害者福祉会会長、福祉で災害ネットワーク会長、埼玉県聴覚障害者協会前理事、戸田市聴力障害協会 資格:臨床心理士、第二種電気工事士 家族:妻(バイオリニスト)
- 趣味:温泉めぐり、マラソン 座右の銘:継続は力なり

発行:佐藤太信 〒335-0034 埼玉県戸田市筈目5-4-15 TEL/FAX 048-494-6439



↑
バリアフリー実現!

ホームページ

<https://satotakanobu.com/>

メール

info@satotakanobu.com

ご挨拶

市議会議員として4年目になりました。来年1月が改選の時期です。戸田市においても新型コロナウィルスの影響による税収減が見込まれる状況となっております。そんな時こそ何ができるのか、市民サービスの向上や効率化を目指して様々な提言をしてまいります。

高齢者等インフルエンザ予防接種

対象者

- 接種日において65歳以上の人
- 60歳以上65歳未満の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能において、身体障害者手帳が1級の人

自己負担額 無料

接種期間 2021年1月31日(日)まで

市長に年度予算に関する要望書を提出

2020年9月24日



(左から矢澤市議、浅生市議、菅原市長、酒井市議、佐藤)

市議会会派「戸田の会」として来年度予算要望を市長に提出しました。市民の皆様からいただいたご意見、今後戸田市にとって必要な施策など約159項目を要望書に掲載いたしました。

主な内容

新型コロナ対策

- 病院の経営状況の調査と支援準備を行うこと。
- 災害時、避難所における感染症対策や必要な設備・物資の確保を行うこと。



防犯・防災

- 県と協力して三領水門ポンプを使用した事前放水や堤防の強化等を行い、戸田ポートコースの遊水池機能を強化すること。
- 防犯カメラ管理について町会負担を軽減し、市の運用に切り替えること。



保育・教育

- 保育・学童保育等の書類のネット申請などを育て関連手続きを簡略化すること。
- 不登校児童生徒に対してのリモート学習環境を推進すること。



環境・福祉

- 化学物質過敏症に対する正しい知識の周知啓発、相談員のスキルアップなど相談支援体制の強化を行うこと。



- 縦割り行政の解消、横断的な施策に対応できるような組織体制を整備すること。



新型コロナウィルス対策に関する補正予算



① 新しい生活様式の定着

- 新しい生活様式導入ガイドの作成・配布
 - 啓発のため、生活状況に応じたリーフレットの作成及び配布
- デジタル市役所、テレワーク推進
 - スマートフォンを活用した行政手続の試行
 - 職員テレワーク環境整備
- 安心宣言の普及促進ステッカーの発行



戸田市商工会では、「新しい生活様式」安心宣言の普及ステッカーを発行しています。

コロナウィルス感染防止対策取組事業所登録制度

② 子どもの学びの機会と子育て環境を守る

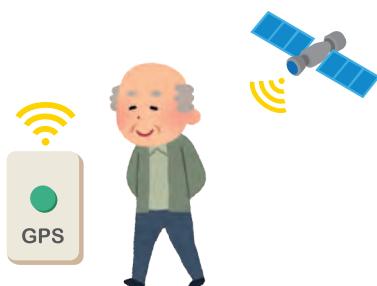
- 小中学校へサーモグラフィーカメラを配備
 - 小中学校18校に各1台整備
 - 消毒液等の感染防止用備品を配備
- 修学旅行キャンセル料を助成
 - 中止や日程変更に伴い発生するキャンセル料の全額を助成
- 学習用パソコンを児童生徒1人1台程度配備
- 民間保育所へ非接触型体温計等購入費を助成
 - 民間保育所へ感染防止用備品等(非接触型体温計、マスク、消毒液等)の購入費を助成

一般質問

1 高齢者支援について

- Q ① 徘徊高齢者探索システムの有効活用について伺う。
② 防災行政無線で放送された対象者への働きかけについて伺う。

- A ① 本システムはGPSを活用するもので、現在は10名が利用。スマートフォンの普及により、徘徊高齢者を発見した方がQRコードを読み込み、表示された連絡先に通報する仕組みなどのタイプがある。事業者や先進自治体からヒアリングを行い、有効なシステムの導入について検討を進める。
② 防災行政無線で徘徊の放送を行った方が、探索システムの利用につながるよう、警察を通じてパンフレットの配布などについて調整する。



9月定例会

- Q ① 地域包括支援センター管轄区域の見直しについて伺う。
② 4ヶ所あるが、市ホームページでは探しづらいため、改善を。

- A ① 地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口である。高齢者人口を踏まえて地区割を行っており、訪問するなど柔軟な対応に努めていきたい。
② 掲載場所を工夫する等、見やすいページづくりを行う。

2 職員の働きやすい環境づくりについて

- Q ① 労働安全衛生法規則第23条では毎月1回の衛生委員会の開催が義務付けられているが現状について伺う。
② メンタルヘルスの不調について、現在は市役所内の男性産業医のみ。内部の職員に話すのは抵抗があるはず、男性である事も考慮いただき、外部のカウンセラーなどに委託を。
③ 障害者採用後の定着支援、職員を対象にしたバリアフリー研修を。

- A ① 卫生委員会は年3回の会議を行っている。今後は毎月1回以上の開催ができるよう調整する。
② 他市町村の制度を参考にし、今後検討する。
③ 専門のアドバイザーと連携をとっている。来年度以降、バリアフリー研修が取り入れられるか検討する。



3 性的少数者の取組みについて

- Q ① 戸田東中学校では2019年度より制服が選択できるようになった。現状の取組みについて伺う。
② パートナーシップ制度、認証制度の導入について

- A ① 戸田東中を含めた4校でスカートかスラックスか選択できるようになっている。残り2校は、来年度以降の導入に向け検討している。
② 本年度、埼玉県においてLGBTQに関する実態調査が実施される。結果の公表を受け、県や近隣自治体の対応状況を踏まえ検討する。



地域の声から改善しました！

天王公園(篠目5丁目)水飲み場

- Before -



土砂堆積による樹の詰まり



- After -



インターロッキング敷の段差

土砂堆積による樹の詰まり、段差があった事から市担当課に改善を要望しました。その結果、早急に修繕いただき、段差につまづく不安が解消され、子どもの安全が確保されました。

ご支援をお願いいたします！

お手伝いいただける方、ボランティアを募集しています。レポートをご希望の方はご連絡ください。無料で送らせていただきます。



季刊「MIMI」に掲載されました！



左から全日本ろうあ連盟理事の中西氏、
佐藤、愛知県豊田市議の中島竜二氏、
庫県明石市議の家根谷敦子氏

座談会において「聴覚障害議員のいまそして未来」というテーマで、議員を志すきっかけ、コミュニケーションの課題、今後の目標など語り合いました。現在、全国で活動している聴覚障がいのある現職議員は私を含め3名です。



季刊みみ169号
(2020年秋季号)

